

---

# 俺に勉強させてくれえ——

のどあめ

---

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

俺に勉強させてくれえ――

### 【Zコード】

Z2470D

### 【作者名】 のじあめ

### 【あらすじ】

勉強の場塾で勉強できない俺、理由はメンバーにあった

俺の名前は佐久間将寺今、とても急いでいる・・・  
「あと5分だ、急がないと、、、」

今、俺は塾にむかっている「塾」と聞くと勉強の場と思つ人がほとんどだと思うが  
俺が向かっている塾は普通の塾じやない・・・

勉強ができない塾だ！！！！！！

これを聞くと先生が馬鹿だと思つ人もいるだろ。やつではない、  
塾にいるメンバーがす”い”のだ。

ではこの物語の始まりである

「ふう、何とか間に合つた・・・・」俺

「」の時間はまだ誰も来てないのか

「授業が終わるとみんな来るんだろうなあ、、、はあ～」

そして授業が始まり・・・・キーン「ーンカーン「ーン・  
・・・・

終わった

この塾には三つの部屋があるひとつは授業を行つ部屋、一つは自習室、二つめは談話室

授業がおわった俺、自習室に入ったら、

「おお～～～い！！！佐久間！！！」

・ 一言で言うと塾の邪魔者だ。力強くて背がたかい誰も逆らえない・ さい奴だ、そして変体

「自習するのか????佐久間????」高木

「おう」俺

おいおい——；；、——ノ俺たつた今勉強するつていつてんのに···  
・・つか声でけえ！——！

「無理だよ」俺

「しょうがねえ、正明遊ぼうぜ…………」高木

「えええ俺勉強してるからあ」正明

「関係ねえ！――こい俺トランプ持つてきたから遊ぶぞ――！」

高木、や、声でかい  
ビシッ 高木の手が正明の後頭部に直撃！――！――！

「」では勉強できねえと思った俺は談話室へ。。。。。。  
談話室の扉を開けると、そこには俺が知ってる三人が！

「よお～～～！三人

「・・・おつ」俺

「授業だつたの？？？」

「」いつは嘘太郎。いつも嘘ついている奴だ、本名があるのだが忘  
れた。

「自習室つむわくて勉強できねえよ」俺

「ああ～～高木でしょ！」

「」いつは学まなぶ負けず嫌いで子供っぽいく結構オタクだ

「」でもう一人は明夫あきおこの塾で俺とこいつくらいが平凡だ。しかし  
「」いつはほとんどしゃべらない。

「」ういえば高木つて鬼ばばと付き合つてるらしいよ」嘘太郎  
わつそく嘘だ。鬼ばばはこの後出でくる

「マタ嘘だろ」学

「」いつは毎回この繰り返しだ・・・

この前テストが帰ってきた俺は結果は最悪で勉強しようと思  
でいるが勉強ができない。

## カラソカラソ

誰かが入ってきた。。

「佐久間ちゃん」

「うわっ、鬼ばばだあ」俺  
鬼ばばとは背が低くて顔があまりかわいくないが男子になれれない女子だ

「ここの前のテストは何点だつたの？？？佐久間ちゃん？？」鬼ばばちゃん付けかよ・・・・ここは聞こえないフリして勉強しよ。

「俺499点だつたよ」嘘太郎  
はいっ、嘘です！こいつは俺より頭悪い！

「えええ、シカトかよおーー佐久間ちゃん」鬼ばば  
お前も嘘太郎シカトしちだろ・・・・

「まあいいや、自習しよーじゃ ね佐久間ちゃん」  
タツタツたつた

「ふう、いなくなつたか・・・・頼むから俺に勉強させてくれ

・

ガチャ！……！……！……！

俺の心が本能的に警戒信号を赤にする。

「佐久間……！……！……俺とやろい……！」高木

「……！」一同

「さくまあ、一緒に遊ぼう」正明

「佐久間ちや……ん、テストの点教えてえ……」鬼ばば

・・・高木変体！……正明帰れ！……鬼ばば、消えろ！……！

「つか、おまえら……、俺に勉強させてくれ……。」

今日も一日塾での無駄な時間が過ぎてつた……。

(後書き)

最後は無理やりオチに持つて行きました。  
もつと書きたかったのですが、時間がなかつたので。  
すいません変な小説になりました、  
ちなみに半分ノンフィクションです

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2470d/>

---

俺に勉強させてくれえ---

2010年10月14日11時26分発行